
YUIが悪と闘ったら 過去篇 1 3

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら 過去篇13

【コード】

N3335Z

【作者名】

pokemomtayan

【あらすじ】

感想は長めに書いてね。

過去の過去の過去（前書き）

感想は長めに書いてね。

過去の過去の過去

とりあえず何も午前中には事件は起こらず、唯達は空き缶の1限目の算数の授業を聞いていた。

菅直人（ハイ）注目！良いです菅皆さん 数学は楽しいヨナ笑。この・二次関数の解き方だが・ $y=xx$ が軸となるから・更に、こんな風に裏技の解き方もあつてな〜笑。）小学4年生の授業を大幅に脱線させて、空き缶は一人黒板に二次関数の表を作つて、好きな数学の問題を勝手に説いていた。

唯（オイ怒！空き缶叫！何回も言うが、算数の授業をしる！算数の授業怒！其れは数学だろうが、カリキュラムが大幅に遅れるだろうが怒叫！）唯は机を叩いて怒鳴り散らした。

菅直人（やかましいんじゃないや怒！お前等、どうせあれだろ？勉強は塾や家庭教師でやっているんだし、別に小学校何て義務教育なんだから、来なくても卒業できるじゃねえかよ怒叫！俺様もあれだ・餓鬼の頃なんて塾で勉強していたから、小学校何てほとんど行かずに修学旅行と卒業式しかいつとらんわい怒！気まずかつたぞ〜笑。あれ・先生！この人転校生です菅？って感じだったが、そんなの俺様には知ったことでは無いワイ怒！勝手にやつとけって感じた。まあ、俺様は真面目だから、中学からは高校進学の内申点を上げる関係で週に・4回は出席して、金土日はお休みにして高校は山口県で3番目に賢い学校に行つて、高2から親父の仕事の関係で東京に移つて、同じくらいレベルの学校に転入して、理系の名門・東京理科大学！国公立に入って、ヲタクの研究+遊びまくつたんだ叫！真面目&正直者は馬菅を見るから学校に行くんだつたら、塾に行きなさい怒！）空き缶は怒鳴り散らして、チヨークでひたすら勝手に問題をニヤニヤ笑いながら、あ〜こんな解き方もあるよな〜と言いながら問題を解いていた。

唯（もうあ菅・・・この男には頼れない・・・泣。）

林（でも、今日に橋本達が攻めて来るんでしょ？私達も逃げた方が
良いんじゃないの？）

大久保（けけけ笑。俺等は死ぬのかもな。まあ、良いや・俺は小
4だけど既に人生に絶望している・お菓子も消費税が上がったか
ら、買いにくなつたし・この不況のご時世だ・政治家は何も
せずに世の中、どんどん悪くなるぜ。善人が損をして、悪人が出世
していく・善人は負けて、雨の中犬でも抱きかかえて泣きながら
笑って道路の片隅にいてりゃあ良いのさ・。）大久保は小4とは
思えない、発言をした。

菅直人（おっと！チャイムが鳴つたな。ハイ！皆さん！この俺様が
解いた問題は、来週の算数のテストに出すから必ず解いておくよう
に叫！）空き缶は黒板を叩きまくつた。

唯（だから怒！其れは中学生レベルだろ怒！）

菅直人（やかましい怒叫！民主党は、放任主義だ！弱者は蹴落とす
から、覚えとけカスが怒！俺様は次の時間まで、今日発売したジャ
ンプを職員室で読んできます！サンジはありや仲間になるな・笑
）空き缶は教卓を蹴り飛ばして、教室を去つて行った。彼の頭には
今は、ワンピースしかなかった。

鈴木（なあ・俺等だけで逃げない菅？）

唯（待ちなよ。とりあえず・デマかもしれないし、今別に爆炎も
上がっていないから落ち着こう・心配だけど・お母さん大丈夫
かな？）唯は空を窓から見上げていた。唯の心配どおり、糟屋山の
方で1時間前に唯の母もいる猟友会と細川元首相の軍との間に戦火
が上がっていた。猟友会・1万2千は山に籠り、地方自治体には
内緒で猟友会がクマ狩りの為に山に作った、日露戦争でロシアが造
った、旅順要塞なみのブロック塀作りの堅固な要塞に入り、猟銃を
並べて迫りくる細川の兵に銃弾を浴びせた。

猟友会A（また・来るぞ叫！構えー叫！）一斉に皆、銃を構えた。
吉岡洋子（撃てー怒叫！）銃弾が発射され、兵士達に当たりまくつ
た。

細川兵士A（な・・何てことだ。一步も要塞にたどり着けないでは無い缶・・泣。）

細川兵士B（くっそー叫！皆は撃ち殺されて行くし、大体・・細川様も無能なんだよ怒！皆が押しに押し攻め入れれば、奴等の銃弾も尽きる叫！その時に、一斉に突入すれば大丈夫じゃ！まるは恐くて、果敢に攻めいる事は出来ぬが・・恐れることは無い！死にはせぬ！多分・・突き進むのじゃ！まるも後ろから進撃して行く！いや・・まあ・・お・お主らが、要塞を落としたりの話じゃ！まるはその方らと共に闘っておるのじゃほくそかわかわかわ笑。って言いながら、あの人は冷や汗を垂らして、目が泳いだ状態で陣より外の公家使用の屏風の中に御身を隠されたんだ！）

兵士A（それって・・俺達は捨て駒か弾除けみたいな物菅叫！）

兵士B（仕方ない・・俺達は失業中で急きよ雇われた人間だ・・泣いきなり採用何ておかしい話と思っていたら、からくりは此れだったの菅・・泣。）もう一人の兵士が、ぎゃーと叫びながら銃弾に撃たれて泥と血が混ざった状態で坂を転がり落ち始めて死んでいったA&B（うわー泣。俺達一步も動けない叫！し・・死ぬのが怖いよ泣。）この二人が後の、お笑いでブレイクする博多花丸大吉の二人だとはだれも知らない。その頃、細川の陣では情報が入っていた。

伝令A（申し上げます叫！我が軍は総崩れとなり、敗走必死！此のままでは壊滅にござりまする！）

細川忠保（弟）（うゝむ・・兄者は屏風の後ろで何をされておるのじゃ！ワシがご注進を申し上げてくる！）弟の忠保は怒りながら、屏風を開いた。

細川忠保（兄者怒！何をなされておいで菅！此のままでは我が軍は全滅ですぞ怒！）弟は怒鳴り散らしたが、その光景を見て愛想が尽きた・・。

風俗嬢A（鬼さん此方ゝ手の成るほうえゝ笑。）

細川元首相（ほくそかわかわかわ笑。此れ此れ・・。まるは、

目を布で隠されて見えぬでおじやるが探し出して、捕まえてセツクスをして優美な時間をとろうぞよ笑。）

風俗嬢B（此方にも、私がおりますよ）笑。）

細川（コレコレ・意地悪をするでない笑。どこじゃどこじゃ笑。あまり年寄りを虐めると、老人虐待になるぞよ笑。）弟は無表情に、部屋の中央に立った。

細川（ホラ捕まえた まろは政治家を辞めてから、陶芸をやっておじやるから・その手つきで乳を揉んでくりようぞ笑。ほら目隠しを取って良いな笑。）細川は目隠しを取った。

細川（ホラ・風俗嬢の誰を捕まえたかのう・え？え！え！）

弟（兄者・怒。）忠保は顔を真っ赤にして、拳を握った。

細川（待て！待て！忠保！此れは、作戦の内なのじゃ叫！こ・此れはなあ・甘美白夜の計と言つてな、まろがこの用に遊んでいる事が敵に知れて、敵が油断した瞬間に奇襲をしてだな・汗。）細川はしどろもどろをしながら慌てていた。

弟（黙らんかい怒！この・無能おじやる丸がー叫！）弟は拳で兄を殴り飛ばした。

細川（あべし叫！）風俗嬢は逃げて行った。

弟（兄者怒！我が軍は全滅ですぞ。どのように言い訳をなさるおつもりか！）

細川（ええい！まろは奮起をしておるではないか！この用に健康的に立つておる！）

弟（黙れ怒！甲冑や具足も脱いで、兵の指揮を乱すし怒！兄者は本当にもう一度、天下をそれでも取りたいと仰せか叫！）

細川（忠保・落ち着くが良い笑。所詮、兵士共は捨て駒に過ぎぬでおじやる。後で野田君に頼んだ小詰（救援）部隊の5千が来るし・何とか要塞を落としてくれようぞ笑。）細川は座って、焼酒を注いで飲み干して朱雀が二羽飛んでいる絵が描かれた、扇子を広げて仰いだ。

弟（オウ笑！して・策は勿論ありなのですな笑。ただ単に、正

面からぶつかるだけでは無いと・)

細川(そ・其れは・う・うん。勿論・まあね、まるは・10か月で総理を辞めた男じゃけど・うん・まあ・う・うん。あの時は無策だっただけで・う・うん。ま・まあ・ええい怒! 正面突破じゃー怒! 敵を蹴散らせい叫!) 細川は怒鳴り散らした。弟(お前はアホかー怒!) 忠保は殴り飛ばした。その頃、海岸沿いでは火の手が上がった。

漁民A(ぎゃー叫! 逃げろ! 砲弾が撃ち込まれるし、数が足りんに・逃げるんだ!)

大塩(こりゃい菅だよ・。直ぐに唯達に知らせにや。) 大塩達は逃げて行った。

橋本龍太郎(はくしししししし笑。ゴミ屑どもが。内閣である俺様に逆らったのが、運のつきだぜ笑。野郎ども怒! 進軍しろ叫! まず、糟屋郡から増税に反対する人民を血祭りに挙げてやらあ怒!) 橋本は天高く笑いながら、両手を広げた、右手に止まった龍ちゃんがまた白い糞を橋本の背広に垂らした。

森(うひひ笑。橋本さん! 大変だよ。何かね笑。長崎県や佐賀県や大分県に送った軍艦が、槍を持った肥満体系の男やギターを持って歌いながら土佐弁を話す男に壊されたり、凍らされたりしてるんだってしかし、ポテチは美味しいなうひひ笑。) 森はポテチを食べた。橋本龍太郎(ああん怒。そいつは何だ叫! 直ぐに中国地方の自民党議員に伝える怒! 救援に来いとな!)

村山富市(むらやまやまやま笑。佐賀県は社民党議員を駐屯させておるから心配じゃが・ワシにはこんなハイカラな闘いは初めての事じゃから・策が無いのう・いやーお茶が美味い。しかし、橋本さん何かね・3時間前にアンタが巻き毛さんに放っておいた刺客が、全員泡を吹いて東京で伸びていると連絡があつたよ。うっかり忘れていて面目ないのう・この連絡の遅れが、阪神淡路大震災の復興や救援を遅らして何万もの命を散らしたのじゃが・内閣を辞めたワシには如何でも良いことじゃのう・ワシには初めての

事じゃから笑。) 村山はのほほんとお茶を飲み干した。

橋本龍太郎(村山・怒。貴様何でそれを早く言わないんだ怒！)

橋本は怒鳴り散らして、村山を蹴り飛ばした。

村山(痛い)のう泣。ワシには初めての事じゃから・仕方ないのじや笑。暴力は反対じゃ。)

橋本龍太郎(もう温厚な俺様も斬れたぞ怒！糟屋郡の奴等だけでも良い！一人残らずぶつ殺せ怒！)

龍ちゃん(くちゅくちゅ・くわくわく皆殺し 皆殺し 皆既日食綺麗だった)橋本さんはもつとダンディくわくわく。)橋本は船から降りて腰の刀に手をかけた。

糟屋郡民A(橋本怒！お前の好きにはさせないぞ！竹槍を喰らえ叫！)

糟屋郡民B(俺は気の棒で突いてやる怒！皆も掛かれ叫！)糟屋郡民は10人、一気に囲んで橋本を殺そうとした。

橋本龍太郎(お前等・怒。嘗め腐りやがって怒！喰らえ怒！アメリカ米軍基地は、そのまま移設せずにアメリカに売ります斬り怒！)橋本は武装色のまとった目に見えない早い剣技で小太刀で10人を斬り殺した。

龍ちゃん(くわくわく 橋本さん凄いジョー)

橋本龍太郎(龍ちゃんは良い子ですね)笑。・森！村山怒！お前等は俺様について来い怒！)

すると、谷垣さんから携帯に電話が入った。

谷垣(総理・ふふふ笑。目障りな空き缶の居場所が分かりました。糟屋郡博多めんたい第2小学校ですそこで臨時教師をやっていると・。私も今日は執事のアルバイトのお休みを貰っておりますので・。そちらに参ります。)谷垣は眼鏡を手の甲で上げて、目をギラツカせて笑っていた。

橋本龍太郎(そいつは面白いな笑。俺様も殺しに行くでしょう・笑。)橋本は一方的に電話を切った。

その頃、唯達は理科の授業で理科室でリトマス紙にアルカリ、塩酸、

アマミラーゼを乗せて変色の授業をやっていた。

唯（あ！変わった！変わった！）これだけでも全然違うんだね笑。）
菅直人（か〜んかんかんかん笑。理科も楽しいヨナ笑。こういう事で、色合いも違うようになっていくんだぞ笑。此れはテストに出すからな笑。）

林（あれ？菅さん。そういや一人だけ、火薬とか石灰や塩酸を集めて黒板を的にしてパチンコを当てているけれど、何をしているの？）

菅直人（ん？此れはあれだ・・俺様が今度、国会の演説で与党が反発した時にどさくさに紛れて浴びせようと考えている、パチンコ玉を開発中なんだ笑。此れは、自民党も黙り込むぜ笑。）空き缶は笑いながら、パチンコを一人で撃ちまくっていた。

唯（空き缶怒！授業をしろよ怒！）

菅直人（う〜ん・・この火薬星に俺様が飲みかけのアルコールを加えて放つと・・ウソツプの火薬星みたいに強かな物になるよな笑。）
菅は火薬星を丸めて放った。

鈴木（駄目だ・・完全に自分の世界に入っている。）

菅直人（う〜ん・・火力は増したがまだまだだな・・ヨシ！今度は、近くの池でブラックバスやブルーギルやライギョを釣って、そいつ等の肉を切り刻んで鍋で煮て魚油を取って、加えてやれば・・生物の肉の油により火力が増して・・。）空き缶は浴びせる議員の顔を考えながらニヤニヤ笑いながら、自身のジャポニカ学習帳にメモ書きをしていった。

林（ねえ・・そういや。あれはデマだったんだよね？変な事も起きていないし笑。）

唯（考え過ぎだったよね笑。）

菅直人（まあ、そうだな笑。大体日本でこんな事が起きるわけないヨナ笑。）空き缶は笑いながら、白衣のポケットの中のバージニアスリムの煙草を取り出して口に加えて火を点けて、窓を開けて煙を吐いた。

唯（あ〜良かった笑。お母さんも考え過ぎだよ・・携帯に電話し

よ……。唯が言った瞬間に、海岸沿いに爆炎やキノコ雲が上がった。

菅直人（まさ菅・あ・あのアホ共は・汗。）空き缶は鼻水を垂らした。すると、教室に白煙玉が投げられて、白い煙が覆い周りが見えなくなった。

自民党議員A（コラ怒！貴様等。大人しく捕まるだ！）

唯（誰だ！コイツ等ぎゃー叫！）

自民党議員B（空き缶だな！白衣を脱いで背広だけでコイ！）

菅直人（痛たか〜ん泣。お前等怒。こんなことが許されると思っっているの菅怒！）皆は捕まり縄で縛られて、グラウンドの中央に集められた。

続

過去の過去の過去（後書き）

感想は長めに書いてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3335z/>

YUIが悪と闘ったら 過去篇 1 3

2011年12月11日15時51分発行